



第8回北海道食育推進優良活動表彰 受賞者活動紹介

洞爺湖町立とうや小学校 (洞爺湖町)

「地域の野菜を地域の子どもたちのために」栄養教諭、調理員、保護者、生産者が連携した給食
活動開始：平成元年（1989年）

安心・安全・生産者から直配野菜

毎朝、近隣の農家さんがとれたての野菜を届けてくれます。給食前の校内放送で生産者さんを紹介するので、食材への興味がわき、郷土愛も育まれます。そのため、残食はほぼゼロとなるなど効果がでています。



生産者と3つの交流

学校の敷地に畑を作り、生産者さんに指導を受けながら野菜を育てます。秋には収穫した野菜でカレーを作り、一緒に食べたり、実際に農園に行き、田植え稲刈り、収穫など体験も！



栄養教諭の給食と食育

一汁二菜を基本とした日常の給食のほか、行事食などの特別な給食を通して、子どもと保護者に身近な存在として、食事のマナー指導や実践型の食育プログラムなどを実施しています。栄養教諭が毎日どこかのクラスに入り、一緒に給食を食べながら適切なアドバイスを行っています。



受賞コメント

本校の校区には有珠山の火山灰が堆積してできた高台地区があり、基幹産業の畑作に従事している保護者が沢山います。新鮮でおいしい食材をふんだんに使った給食は子どもたちの楽しみです。野菜嫌いが知らないうちに解消されたなど、保護者から嬉しい言葉が聞こえます。本校の食育は、地域・保護者に支えられています。（鹿野教頭先生）

